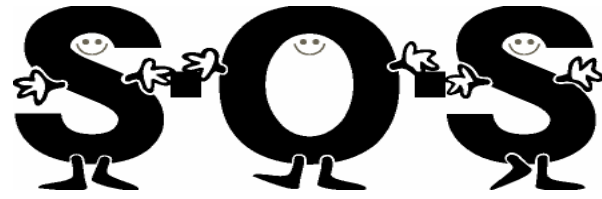


vol. 112通信 (平成21年12月9日発行)



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036  
代表TEL：(0567) 26-3921  
FAX：(0567) 26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《銀杏狩り/ナイス・デイ》

祖父江へ銀杏(いちよう)を見に出かけました。津島からは少し遠いですが、下見を行い、スタッフは多めに配置し出来るだけ完全に備えての出発です。一面に広がる銀杏に、日頃、無表情な利用者さんも目を輝かせていました。また、翌日、数分前の出来事を忘れてしまう利用者さんは「昨日の銀杏はきれいだった」と覚えていました。美しいものに触れ感動することは心や頭に響いている…と私達は確信しています。



《文化祭/ナイス・デイ》



文化の日にちなみ文化祭を開催

利用者さんが塗り絵や書道、短歌等を披露し、お花とお茶の会が開かれました。普段、物静かな方が大胆に花を生けるのを見て、一人ひとりに得意なことがまだ沢山あると気付きました。「もう出来ないから」と尻込みせず、知恵と工夫で出来ることもあるかも知れません。その発見とお手伝いがしたいと思っています。

老いの姿を学ぶ ～愛宕の家の日々より～ その10

個の力と集団の力……。

年を取ると体裁を構うことが出来なくなって、素の姿を見せてくれる。

自宅では『足が痛くて歩けれん』と言って歩かなかった人が、デイサービスの利用中『自分でやれることはやらなきゃねえ～♪♪』と言いながら車椅子を押し車に仕立てて歩く。ちょうどその様子を目にした家族はビックリ!『何???歩けるの???』

スタッフが色々と話しかけても『わしには聞こえんわ!』と言ってすねたような素振りで居室に戻る人が、入居者同士の会話には相槌を打っている。(スタッフは・・・ちゃんと聞こえるじゃん。)その後、再チャレンジで話しかけても、そ知らぬ顔で『わしには聞こえんで..』と同じことを繰り返す。『勝手つんぽかね(笑)』と聞くと笑う。

スタッフや家族が『何回言ったら分かってくれるの?』という話しかけ方をしているのをよく耳にする。『何回聞いても分からんわあ～』と平気な顔で返してくる。

気付けば、個々ではしない・できないことでも、集団でいるとき、自ら他者と同じように行動しようとする気力?意欲?能力?が自然に発揮されている。個としてみれば、身体的能力の弱さや精神面での弱さを持っている人が、集団の中に身を置き安心することで能力を発揮する。その意味から考えると、入居施設等の集団生活の場はとても有効だと思える。「今は昼か夜か」、「これは朝食か昼食か」、などの生活リズムも、同じ空間に同じリズムで時を過ごし、会話が生まれるからこそ自然に認識している。集団的効果のフル活用である。

今年も年の瀬、集団の力を生かして、少しでも多くの個の能力を高めながら新年を迎えたいと思います。(I)

《運営推進会議/ナイス・ホーム》

11月20日運営推進会議が開催され利用者のご家族、津島市役所職員、高齢者相談センターの職員、囑託さんにご参加頂き、意見交換が行われました。「退院する際、病院の相談窓口では小規模多機能の存在は知らされず、自分達で調べてナイス・ホームに辿り着いた。良い制度なのに…」と話すご家族の経緯から、“小規模多機能”の周知がまだまだ足りないことが痛いほど伝わってきました。住み慣れた地域(自宅)で生活を続けられる方や取り巻く地域の方々にこの制度を知って頂きナイス・ホームがもっと身近な存在になるための情報発信をしていくつもりです。

《社内研修/ナイス・ケア》

訪問先ではヘルパーは一人。だからこそ、社内研修で技術を向上し利用者さんに応じた介護技術を身につけることはとても重要。バラバラの方法では混乱や事故に繋がる恐れもある。研修で、自らを振り返り、介護される側を経験することで利用者さんの目線で考えることや心地良さについても追及します。今回のテーマ「清拭」はこれまで何度か取り上げていますが、その度に新たな発見があり、基本から外れている癖等をヘルパー同士で修正します。



《話之花が咲く/愛宕の家》

夕食後、寝るまでの時間にお泊りの方も交えお喋りを楽しむことがあります。同世代を生きた者同士、楽しい話も辛い思い出も本音で話し感情も涙も溢れ出す…。認知症の方も生き生きとした表情で昔話を詳しく語る。話は尽きることがなく「と声をかける程でした。」



《貼り忘れ事故/ナイス・デイ》

「デイから帰ってきたら母の胸にテープが貼ってなくて…」とあるご家族から連絡を頂きました。入浴後、貼り替えるはずの薬を忘れていたのです。後日、この事故が起こった背景や理由、再発防止について話し合いました。「〇〇さんにとってその薬がなぜ必要なのかということさえ、あまり気にしていなかった」という言葉を裏付けるように意識の低さが根底にあります。対策やダブルチェックは必要ですが、その前に利用者さんのことをどれだけ知り、深く考えていたのか。今回の事故から看護師を中心に意識を変えようと模索しています。

《一緒にしましょう/ナイス・デイ》

午後になると「私の家は？」と繰り返す利用者さん。場所や時間が分からない不安や苛立ちをスタッフにぶつけてきます。言葉だけでごまかすことは逆効果で、感情を否定せず受け入れながら一緒に調理等をしていく内に落ち着いていきます。でも、「させられている」と感じるとまた不安に。その繊細な感受性には見事にスタッフの精神状態が写されていてドキリとします。利用者さんから学ぶことの多い毎日です。



《年末年始の休業について/S・O・S》

365日営業の小規模多機能を再開したこともあり、スタッフ配置を考慮して右記のように休業させていただきます。予定調整上、ご迷惑をお掛けする方もあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

愛宕の家(有料老人ホーム) 入居施設のため休みなし  
つしま紹介所(有料職業紹介) 休みなし  
ナイス・ホーム(小規模多機能型居宅介護) 休みなし  
ナイス・ケア(訪問介護) 12月30日～1月3日は休業  
※日常生活に支障のある方に対する訪問介護は実施  
ナイス・デイ(通所介護) 12月30日～1月3日は休業  
ナイス・デイ(託老所/全額負担) 休みなし  
請負事業 休みなし

《クリスマス気分/S・O・S》

玄関に大きなクリスマスツリーが登場しました。大人も子供も顔がほころびます。暑さ・寒さだけでなく行事や飾りから季節感を感じることはとても大切。「私が小さい頃がクリスマスなんてなかったけどねえ」なんて言いながらも、室内に流れてくるジングルベルの歌に気分はすっかりクリスマス! 24日にはクリスマスのお楽しみ会が開催される予定です。



《編集後記》

今年もあとわずか…。12月の声を聞くと、急に気忙しくなる気がします。気の多い私は「今年のうち、あれもこれも」とつい欲張りになってしまいがち。でも、その気持ちを抑え、目の前の一つ一つに集中し、正面から向き合えるよう自分に言い聞かせています。今年もこの通信を最後まで読んで下さりありがとうございました。来年も宜しくお願いします。(M)